



尾鷲市北浦西町の馬越墓地入口左脇にある「尾鷲市指定文化財 有形文化財 馬越墓地の津波供養塔」の碑(写真中央下手前)と、「三界萬霊塔」(写真右奥)の全景。

尾鷲市指定文化財

有形文化財

馬越墓地の津波供養塔

昭和48年4月11日

尾鷲市教育委員会

尾鷲市北浦西町の馬越墓地入口左脇にある「尾鷲市指定文化財 有形文化財 馬越墓地の津波供養塔」の碑の拡大写真。

## 馬越（注）の津波供養塔

江戸時代・宝永四年（一七〇七）十月四日に発生した『宝永大地震津波』は、尾鷲浦にも大きな被害をもたらした。この『経塚・三界万霊』塔は、その大津波で流死した犠牲者の七回忌・正徳三年（一七三三）十月四日に、供養建立したものである。

船津村（現・海山町）永泉寺の和尚が碑文を書き、明治年間廃寺となった野地村（尾鷲市）良源寺の和尚が建立した。

この塔の三面には、漢文で『男女老幼溺死者千有余人』など、被災状況や流死のありさまが彫刻されている。

碑文には、溺死者千有余人とあるが、宝永七年（一七二〇）幕府巡見使への報告資料は、五百三十余人となっている。

昭和四十八年四月十二日、尾鷲市有形文化財（建造物）指定。



「三界萬靈塔」の正面(写真右上)と左側面(写真左)。左側面の碑文には、「宝永丁亥冬十月初四日南海路地大震」などの文字がみられる。



「三界萬靈塔」の背面(写真左)と右側面(写真右上)。背面の碑文には、「而男女老幼溺死者千有餘人」などの文字がみられる。



尾鷲市北浦西町の馬越墓地より尾鷲市街地(南方)をのぞむ。